

1. 教育目標・教育課程

(1) 中学部の教育目標

- ① きまりを守り、最後までがんばる生徒（知）
- ② 素直で思いやりを持ち、みんなと協力する生徒（徳）
- ③ 健康で明るく、すすんで挨拶ができる生徒（体）

(2) 教育課程編成の方針

本校の教育課程編成の基本方針をふまえ、次の方針を掲げる。

- ① 小学部・高等部との系統性を考慮して編成する。
- ② 生徒の実態に応じて、Ⅰ～Ⅱ課程の教育課程を編成する。
- ③ Ⅰ課程は中学校学習指導要領に自立活動を加えて編成する。
- ④ Ⅱ課程は、知的教育課程とし、特別支援学校中学部学習指導要領に基づき編成する。
- ⑤ 訪問教育における教育課程は、Ⅰ・Ⅱ課程に準じて弾力的に編成する。

(3) 各教科等の指導の重点

【Ⅰ課程・訪問教育Ⅰ課程】（一般教育課程：中学校の教育課程に自立活動を加える）

① 各教科

〈国 語〉

ア 知識及び技能

社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

〈社 会〉

ア 知識及び技能

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につける。

イ 思考力・判断力・表現力

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

社会的な事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

〈数 学〉

ア 知識及び技能

数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

〈理 科〉

ア 知識及び技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求する為に必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

観察、実験などを行い、自然の事物・現象の中に問題を持つこと、予想や仮説を立て見通しをもって取り組むことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自然の事物・現象に関心を持ち、学んだことを日常生活に関連付け、積極的に活かそうとする態度を養う。

〈音 楽〉

ア 知識及び技能

曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

〈美 術〉

ア 知識及び技能

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

〈保健体育〉

ア 知識及び技能

各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

〈技術・家庭〉

ア 知識及び技能

生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を育てる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てる。

〈外国語（英語）〉

ア 知識及び技能

外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュ

ニケーションを図ろうとする態度を養う。

② 道徳科

- ・望ましい生活習慣を身につけ、自他の生命を尊重できるようにする。
- ・お互いの人格を尊重し、感謝と思いやりの心を身に付けるようにする。
- ・自主的に集団や社会にかかわり、協力して活動できるようにする。

③ 総合的な学習の時間

ア 知識及び技能

探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析をして、まとめ・表現できるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

④ 特別活動

ア 知識及び技能

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

【Ⅱ課程・訪問教育Ⅱ課程】（知的教育課程：特別支援学校中学部の教育課程）

① 各教科

〈国語〉

ア 知識及び技能

日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしておその能力の向上を図る態度を養う。

〈社 会〉

ア 知識及び技能

自分自身と身近な人々、身の回りの社会事象に興味を持ち、関わり方や仕組みに関心を持つことができる。

イ 思考力・判断力・表現力

身の回りの社会事象について、周りの人と協力して気付いたことを表現することができる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

学習したことを自分の生活に活かすことができる。

〈数 学〉

ア 知識及び技能

数量や図形などについて基礎的・基本的な概念や性質などを理解する。

イ 思考力・判断力・表現力

日常の事象を数理的に捉え、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに着目し、考察する力、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

数学的活動のた楽しさに気付き、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

〈理 科〉

ア 知識及び技能

自然に親しみ、身の回りの生物や植物に関心を持つことができるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

観察、実験の流れを知り、見通しをもって取り組むことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを日常生活で活かそうとする態度を養う。

〈音 楽〉

ア 知識及び技能

曲名や曲の雰囲気と音楽の構造などに関わりについて気付くとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

〈美術〉

ア 知識及び技能

造形的な視点を理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技術を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。

〈保健体育〉

ア 知識及び技能

各種の運動の特性に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

〈職業・家庭〉

ア 知識及び技能

- ・学習の中で、学習環境や（室内・外、調理環境 等）素材、道具の感覚を身に付け、将来必要な基盤を育てる。
- ・学習を通し、生活及び働くために必要な知識、技能、態度を身に付ける。
- ・道具や機械などの使い方を理解し、安全に取り扱う技術を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

- ・学習を通し日常生活や社会生活の基盤となる資質、態度を育てる。

・学習を通し地域・社会への興味・関心を広げる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

・学習の中で、将来への興味・関心を広げ、生活していく力と働く意欲を育てる。

・社会生活の中で他者と協力するための態度を育てる。

〈外国語（英語）〉

ア 知識及び技能

外国語の音声や基本的な表現、文化に慣れ親しみ、真似たり表現したりすることで相手に伝えることを感じ取ることができる。

イ 思考力・判断力・表現力

身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

ウ 学びに向かう力・人間性等

外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に伝わるよう工夫しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

〈生活基礎（選択教科）〉

ア 知識及び技能

活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

自分自身や身の回りの生活のことについて理解し、考えたことを表現できるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自分のことに取り組んだり身近な人々に働きかけ、意欲や自信を持って学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う

〈生活総合（選択教科）〉

ア 知識及び技能

活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信を持って学んだり生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。

〈職業実習（選択教科）〉

ア 知識及び技能

- ・実践的学習の中で、学習環境や（室内・外、調理環境 等）素材、道具の感覚を身に付け、将来必要な基盤を育てる。
- ・実践的学習を通し、働くために必要な知識、技能、態度を身に付ける。
- ・道具や機械などの使い方を理解し、安全に衛生的に取り扱う技術を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

- ・実践的活動の中で、様々な環境や素材、道具の感覚を身に付け喜びや、楽しむ感情を育てる。
- ・実践的学習を通し、働く上で基盤となる資質、態度を育てる。
- ・実習や販売活動を通し地域・社会への興味・関心を広げる。

ウ 学びに向かう力・人間性等

- ・実践的学習を通し、自己の将来への興味・関心を広げ、喜びや楽しみを味わうことで働くための意欲を育てる。
- ・活動を通し、集団に参加する態度を育てる。

② 道徳科

- ・望ましい生活習慣を身につけ、自他の生命を尊重できるようにする。
- ・お互いの人格を尊重し、感謝と思いやりの心を身に付けるようにする。
- ・自主的に集団や社会にかかわり、協力して活動できるようにする。

③ 総合的な学習の時間

ア 知識及び技能

体験的な活動を通して、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。

イ 思考力・判断力・表現力

身近な生活の中にある課題に気づき、自分なりに考えたり、それをまとめて表現したりできるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

主体的・協働的に取り組む中で、互いのよさに気づき、自ら積極的に他者と関わり合って社会に参画しようとする態度を養う。

④ 特別活動

ア 知識及び技能

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

イ 思考力・判断力・表現力

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

ウ 学びに向かう力・人間性等

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

⑤ 自立活動

個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。